

時 期	1 年A巡	単元	学科	教科名	学科_ア基礎A	
科 目	基礎	教科書等 持参品	内製テキスト		発行日	2025.4.1
総時限	38時限				教科担当	添田
必要時限	38時限					後藤

指導教員の実務経験	該当	非該当
自動車整備士として、実務経験がある教員、日本語学校教員により基礎自動車工学について指導する。 日本語にて学習内容を説明できるように指導する。		

教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）
①日本語による自動車全般の構造及びについての説明内容を理解する。 ②日本語学校では取り扱わない自動車専門用語を理解する。 ③低語学力学生をターゲットとし、進行は遅く十分な復習時間を用意し、理解を深める。 ④学生が話す(speaking)タイミングを十分に取り、話すことから学ぶことを重視する。

授業の到達目標（何を理解し何が出来ようになるのか）
①2年次から使用する整備振興会の主要教科書を使用するが、その時に出来るだけ日本語で躓かないように語句の意味を理解し、日本語独特の言い回しになれる（倒置や比喻、比較など） ②構造や各部品の簡単な役割を日本語で話せる能力を身に付ける。

学習評価（期末試験での主な試験項目）
1) 履修試験での学習評価 筆記試験 100点にて評価する。 60点以上で合格 2) 出題試験項目 ①テキスト内容から出題する ②授業ノートから出題（穴埋め問題、漢字の読みを語群から選び記入させる）

準備学習

時 期	1 年A巡	単元	学科	教科名	学科_ア基礎A		
授業概要（時限ごとの主な授業内容）					教科書、資料、備品類		
時限	主な授業内容				資料、備品類	数量	
	◎ 自動車の概要				内製テキスト		
	1. 自動車の定義						
1	(1) 道路運送車両法①						
2	復習と話す練習						
3	(1) 道路運送車両法②						
4	復習と話す練習						
5	(2) 道路交通法①						
6	復習と話す練習						
7	(2) 道路交通法②						
8	復習と話す練習						
9	(3) 日本工業規格（JIS）①						
10	復習と話す練習						
11	(3) 日本工業規格（JIS）②						
12	復習と話す練習						
13	2. 自動車の分類						
14	(1) 道路運送車両法による分類①						
15	復習と話す練習						
16	(1) 道路運送車両法による分類②						
17	復習と話す練習						
18	(2) 用途による分類①						
19	復習と話す練習						
20	(2) 用途による分類②						
21	復習と話す練習						
22	(2) 用途による分類③						
23	復習と話す練習						
24	(3) 駆動輪の位置による分類①						
25	復習と話す練習						
26	(3) 駆動輪の位置による分類①						
27	復習と話す練習						
28	(4) 原動機による分類①						
29	復習と話す練習						
30	(4) 原動機による分類②						
31	復習と話す練習						
32	(5) エンジンの位置による分類①						
33	復習と話す練習						
34	(5) エンジンの位置による分類②						
35	復習と話す練習						
36	(5) エンジンの位置による分類③						
37	復習と話す練習						
38	期末試験						

時 期	1 年B巡	単元	学科	教科名	学科_ア基礎B	
科 目	基礎	教科書等 持参品	内製テキスト		発行日	2025.4.1
総時限	44時限				教科担当	添田
必要時限	44時限					後藤

指導教員の実務経験	該当	非該当
自動車整備士として、実務経験がある教員、日本語学校教員により基礎自動車工学について指導する。 日本語にて学習内容を説明できるように指導する。		

教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）
①日本語による自動車全般の構造及びについての説明内容を理解する。 ②日本語学校では取り扱わない自動車専門用語を理解する。 ③低語学力学生をターゲットとし、進行は遅く十分な復習時間を用意し、理解を深める。 ④学生が話す(speaking)タイミングを十分に取り、話すことから学ぶことを重視する。

授業の到達目標（何を理解し何が出来ようになるのか）
①2年次から使用する整備振興会の主要教科書を使用するが、その時に出来るだけ日本語で躓かないように語句の意味を理解し、日本語独特の言い回しになれる（倒置や比喻、比較など） ②構造や各部品の簡単な役割を日本語で話せる能力を身に付ける。

学習評価（期末試験での主な試験項目）
1) 履修試験での学習評価 筆記試験 100点にて評価する。 60点以上で合格 2) 出題試験項目 ①テキスト内容から出題する ②授業ノートから出題（穴埋め問題、漢字の読みを語群から選び記入させる）

準備学習

時 期	1 年B巡	単元	学科	教科名	学科_ア基礎B		
授業概要（時限ごとの主な授業内容）						教科書、資料、備品類	
時限	主な授業内容					資料、備品類	数量
	◎自動車の構造					内製テキスト	
1	1. 自動車の構成①						
2	復習と話す練習						
3	1. 自動車の構成②						
4	復習と話す練習						
5	2. エンジンの原理①						
6	復習と話す練習						
7	2. エンジンの原理②						
8	復習と話す練習						
9	2. エンジンの原理③						
10	復習と話す練習						
11	2. エンジンの原理④						
12	復習と話す練習						
13	3. ガソリン・エンジン①						
14	復習と話す練習						
15	3. ガソリン・エンジン②						
16	復習と話す練習						
17	(1) エンジン本体①						
18	復習と話す練習						
19	(1) エンジン本体②						
20	復習と話す練習						
21	(1) エンジン本体③						
22	復習と話す練習						
23	(2) 潤滑装置①						
24	復習と話す練習						
25	(2) 潤滑装置②						
26	復習と話す練習						
27	(3) 冷却装置①						
28	復習と話す練習						
29	(3) 冷却装置②						
30	復習と話す練習						
31	(4) 燃料装置①						
32	復習と話す練習						
33	(4) 燃料装置②						
34	復習と話す練習						
35	(5) 吸排気装置①						
36	復習と話す練習						
37	(5) 吸排気装置②						
38	復習と話す練習						
39	(6) 排出ガス浄化装置①						
40	復習と話す練習						
41	(6) 排出ガス浄化装置②						
42	復習と話す練習						
43	復習						
44	期末試験						

時 期	1 年C巡	単元	学科	教科名	学科_ア基礎C	
科 目	基礎	教科書等 持参品	内製テキスト		発行日	2025.4.1
総時限	42時限				教科担当	添田
必要時限	42時限					後藤

指導教員の実務経験	該当	非該当
自動車整備士として、実務経験がある教員、日本語学校教員により基礎自動車工学について指導する。 日本語にて学習内容を説明できるように指導する。		

教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）
①日本語による自動車全般の構造及びについての説明内容を理解する。 ②日本語学校では取り扱わない自動車専門用語を理解する。 ③低語学力学生をターゲットとし、進行は遅く十分な復習時間を用意し、理解を深める。 ④学生が話す(speaking)タイミングを十分に取り、話すことから学ぶことを重視する。

授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）
①2年次から使用する整備振興会の主要教科書を使用するが、その時に出来るだけ日本語で躓かないように語句の意味を理解し、日本語独特の言い回しになれる（倒置や比喻、比較など） ②構造や各部品の簡単な役割を日本語で話せる能力を身に付ける。

学習評価（期末試験での主な試験項目）
1) 履修試験での学習評価 筆記試験 100点にて評価する。 60点以上で合格 2) 出題試験項目 ①テキスト内容から出題する ②授業ノートから出題（穴埋め問題、漢字の読みを語群から選び記入させる）

準備学習

時 期	1 年C巡	単元	学科	教科名	学科_ア基礎C		
授業概要（時限ごとの主な授業内容）					教科書、資料、備品類		
時限	主な授業内容				資料、備品類	数量	
	◎自動車の構造				内製テキスト		
	1. ガソリンエンジン						
1	(7) 電気装置						
2	復習と話す練習						
3	(7-1) バッテリー						
4	復習と話す練習						
5	(7-2) 始動装置①						
6	復習と話す練習						
7	(7-2) 始動装置②						
8	復習と話す練習						
9	(7-3) 充電装置①						
10	復習と話す練習						
11	(7-3) 充電装置②						
12	復習と話す練習						
13	(7-4) 点火装置①						
14	復習と話す練習						
15	(7-4) 点火装置②						
16	復習と話す練習						
17	(7-4) 点火装置③						
18	復習と話す練習						
19	2. ジーゼルエンジン						
20	復習と話す練習						
21	(1) 燃料装置①						
22	復習と話す練習						
23	(1) 燃料装置②						
24	復習と話す練習						
25	(1) 燃料装置③						
26	復習と話す練習						
27	(2) 予熱装置①						
28	復習と話す練習						
29	(2) 予熱装置②						
30	復習と話す練習						
31	(3) 排出ガス浄化装置①						
32	復習と話す練習						
33	(3) 排出ガス浄化装置②						
34	復習と話す練習						
35	3. 動力伝達装置						
36	復習と話す練習						
37	(1) クラッチ①						
38	復習と話す練習						
39	(1) クラッチ②						
40	復習と話す練習						
41	復習						
42	期末試験						

時 期	1 年D巡	単元	学科	教科名	学科_ア基礎D		
科 目	基礎	教科書等 持参品	内製テキスト			発行日	2025.4.1
総時限	34時限					教科担当	添田
必要時限	34時限						後藤

指導教員の実務経験	該当	非該当
自動車整備士として、実務経験がある教員、日本語学校教員により基礎自動車工学について指導する。 日本語にて学習内容を説明できるように指導する。		

教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）
①日本語による自動車全般の構造及びについての説明内容を理解する。 ②日本語学校では取り扱わない自動車専門用語を理解する。 ③低語学力学生をターゲットとし、進行は遅く十分な復習時間を用意し、理解を深める。 ④学生が話す(speaking)タイミングを十分に取り、話すことから学ぶことを重視する。

授業の到達目標（何を理解し何ができるようになるのか）
①2年次から使用する整備振興会の主要教科書を使用するが、その時に出来るだけ日本語で躓かないように語句の意味を理解し、日本語独特の言い回しになれる（倒置や比喻、比較など） ②構造や各部品の簡単な役割を日本語で話せる能力を身に付ける。

学習評価（期末試験での主な試験項目）
1) 履修試験での学習評価 筆記試験 100点にて評価する。 60点以上で合格 2) 出題試験項目 ①テキスト内容から出題する ②授業ノートから出題（穴埋め問題、漢字の読みを語群から選び記入させる）

準備学習

2025年 授業計画

[illegible]